

せたがや 区議会だより

No.189

4/29

第1回定例会の主な会議日程
 3月3日 本会議(代表質問)
 4日 本会議(代表質問、一般質問)
 5日 本会議(一般質問、議案の付託)
 11日 本会議(議案の議決)
 12日~26日 予算特別委員会
 28日 本会議(議案の議決)

発行 平成15年4月29日 〒154-8504 世田谷区世田谷4丁目21-27 世田谷区議会 ☎(5432)1111代表 http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/

100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。



平成15年度予算が成立

第1回定例会開催

議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から52件の案件が、議員から3件の案件が提出されました。議員提出議案のうち1件を賛成少数で否決し、その他の議案は原案どおり可決しました。

15年度各会計予算

- 一般会計 賛成多数 5件
- 国民健康保険事業会計 賛成多数 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社
- 介護保険事業会計 賛成多数 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社
- 老人保健医療会計 賛成多数 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社
- 中学校給食費会計 賛成多数 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社

14年度各会計補正予算

- 一般会計(第二次) 賛成多数 4件
- 国民健康保険事業会計(第二次) 賛成多数 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社
- 介護保険事業会計(第二次) 賛成多数 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社
- 老人保健医療会計(第二次) 賛成多数 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社

- 条例の新設 2件
- 駐車場条例 賛成多数 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社
- 区役所来庁者用駐車場(世田谷4-22-30)を区立駐車場に位置づけ、使用料やその減免規定などを定める。 賛成多数 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社
- 環8沿道地区計画区域内の建築物制限条例 賛成多数 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社

- 条例の改正 30件
- 財団法人に対する助成等条例 賛成多数 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社

- 公益法人等への職員派遣等条例 (全員賛成)
- 以上2件は、対象となる法人等の範囲を変更した。
- 政務調査費交付条例(全員賛成)
- 対象を会派又は議員の選択制とする。
- 職員定数条例(全員賛成)
- 職員定数を削減した。
- 地区会館条例(全員賛成)
- 桜新町区民集会所(桜新町1-30-14)を新設した。
- 美術館条例(全員賛成)
- アトリエ館条例(全員賛成)
- 文学館条例(全員賛成)
- 文化生活情報センター条例(全員賛成)
- 男女共同参画センター条例(全員賛成)
- 以上5件は、管理委託先をせたがや文化財団に変更したことなど。
- 地域保健福祉推進条例(全員賛成)
- 総合福祉センター条例(全員賛成)
- 心身障害者福祉手当条例(全員賛成)
- 知的障害者生活寮条例(全員賛成)
- 身体障害者デイサービスセンター条例(全員賛成)
- 身体障害者自立体験ホーム条例(全員賛成)
- 岡本福祉作業ホーム条例(全員賛成)
- 知的障害者授産施設条例の改正等条例(全員賛成)
- 以上8件は、障害者福祉の支援費制度の実施に伴う規定の整備など。
- 老人会館条例 賛成多数 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社
- 社会福祉協議会に管理を委託したことなど。
- 介護保険条例 賛成多数 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社
- 国民健康保険条例 賛成多数 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社
- 公園条例(全員賛成)

次の公園を新設すると共に、宇奈根2-2広場を「宇奈根龍王公園」、北鳥山8丁目広場の一部を「北鳥山もぐら公園」として区立公園に位置づけたことなど。

名	称	所在地
大原	わくわく公園	大原1-23-17
堂ヶ谷	戸公園	田3-32-14
宇奈根	下河原緑道	宇奈根2-8-30先
鎌田	前耕地緑道	岡本2-13-16先

- 身近な広場条例(全員賛成)
- 太子堂中学校前広場(太子堂3-26-1)を新設した。
- 地区計画区域内の建築物制限条例 賛成多数 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社
- 成城学園前駅周辺地区の地区整備計画区域を新たに対象としたことなど
- 住環境整備条例(全員賛成)
- 街づくり条例(全員賛成)
- 以上2件は、法改正に伴い規定を整備した。
- 区営住宅管理条例(全員賛成)
- 世田谷区営ホープ大蔵(大蔵1-31-28)を新設する。
- 総合運動場条例(全員賛成)
- 千歳温水プール条例(全員賛成)
- 以上2件は、利用料金制導入のため、規定を整備したもの。
- 自転車条例 賛成多数 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社
- 成城東自転車等駐車場(祖師谷3-13-2先)を新設する。

- 条例の廃止 4件
- 用品調達基金条例(全員賛成) 当該基金を廃止する。
- 災害応急援護資金貸付条例(全員賛成)
- 公害防止対策資金融資あっ旋条例 賛成多数 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社 賛成議員 公民・無党派・生活系・社
- 水洗化設備資金融資あっ旋・利子補給条例(全員賛成) 以上3件は、当該制度を廃止した。

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

8ページへ続く

代表質問

3月3日及び4日の本会議で、6名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その要旨をお伝えします。

自由民主党

菅沼 つとむ議員

質問 長年培ってきた世田谷の魅力を一層高めるためにも、強い決意で行革を断行すべきだ。①職員定数の一層の削減に力を注ぎ。②小学校の給食調理業務の民間委託は予定どおり実施せよ。総務部長ほか ①新たな目標の達成に全庁挙げて取り組む。②退職不補充を継続し16年度から順次委託していく。

質問 山積する区政課題の中には区民に任せるべきものもある。小さな行政を目指し、民間活用や区民負担の公平化など財政の構造改革を強力に進めよ。助役 民間の会計手法の採用や外部委託の推進により新しい自治体を目指す。

質問 区内産業の多くを占める商業の振興が重要だ。地域コミュニティの核でもある商店街の活性化に力を注ぎ。産業振興部長 積極的に支援していく。

質問 福祉に対する既存の価値観を転換し、環境保護や都市整備、教育など区政全体で区民が安心できる状況を確認する視点を持つべきだ。①現金給付型事業は見直し、サービスの選択を尊重する仕組みを整えよ。②保健福祉の総合計画は広い見地から策定せよ。

助役 保健福祉部長 ①社会福祉基礎構造改革の視点に立つて政策理念を問い直し施策を展開していく。②区民参画により独自性のある計画を作る。

質問 世田谷の特色は緑豊かな都市であることだ。地球温暖化防止にも有効な緑の創出や保全を一層進めよ。

区長 都市整備部長 区民や事業者と共に総合的な施策を推進する。

質問 道路整備は街づくりの根幹だ。①区民生活にかかわりの深い主要生活道路や補助幹線道路の整備に力を注ぎ。②外環道の早期着工に向け、より多くの住民理解を得るよう国や都に求めよ。助役 建設住宅部長 ①進捗が遅れている路線に重点的に取り組む。②環境に配慮して進めるよう要請する。

質問 ①子どもの体力向上には、すべ

公明党

小口 義晴議員

質問 21世紀にふさわしい区民のあり方を問い直すべきだ。①信頼される区政の実現に全力を挙げよ。②区民生活を守るセーフティネットを構築せよ。

区長 助役 ①明確な方針を掲げ施策を展開する。②多様な方策を講じる。

質問 少子化対策では、子育て不安の解消が重要だ。子育てに悩む母親を支える環境づくりに積極的に取り組めよ。烏山支所長 事業を充実していく。

質問 雇用促進策の強化に向け、ハローワーク分室の区内設置を国に求めよ。産業振興部長 当面はハローワークと連携した事業の推進に努める。

質問 区内で凶悪犯罪が相次ぐ中、防犯対策に一層力を注ぐべきだ。①安全パトロール隊を組織せよ。②パトロールを兼ねるこみの夜間収集を実施せよ。生活文化部長ほか ①先進事例を研究したい。②検討したい。

質問 子どもの発達段階に合わせた教育が実践できる小中一貫校を設置せよ。教育長 中学校教員の小学校派遣の試行など小中学校の連携を進める。



ての世代がスポーツに親しめる環境の整備が大切だ。スポーツ審議会の新たな答申を施策に生かせ。②学校の施設整備は教育環境を向上させ、学校を核とした総合型地域スポーツクラブの設立にもつなげる。積極的に推進せよ。教育長 ①スポーツ財団との連携により充実させる。②地域住民も活用できる施設として整備していく。

民主党・無所属クラブ

高橋 忍議員

質問 不安定な国際情勢の中で区民の平和への願いは高まっている。平和施策の将来ビジョンを示し強力に進めよ。区長 幅広く議論していく。

質問 建物の耐震性を高める取り組みを強化すべきだ。被害想定に基づく災害に強い街づくりを平時から推進せよ。危機管理室長 耐震補強などを進める。

質問 清掃事務組合は、清掃工場未設置区への工場建設を見直そうとしている。自区内処理原則の堅持を要望する。

質問 医療や年金に対する区民の不安が大きい。身近な自治体としての責任を持って福祉施策の将来像を示せ。保健福祉部長 幅広い区民の参画を得て総合的な計画の策定を進める。

質問 虐待など子どもの人権侵害への対応が急務だ。オンブズマンによる相談や権利擁護の体制を早急に確立せよ。生活文化部長 子ども条例の趣旨に沿い、子どもの立場で施策推進に努める。

質問 住民による地区計画提案制度を設け、区民参加の街づくりを促進せよ。都市整備部長 具体的な検討を進める。



日本共産党

桜井 稔議員

質問 長引く不況の中で、区は国や都の住民の生活を顧みない政治に追随し、福祉を後退させ、区民に負担を強いる予算を編成した。認識を示せ。

区長 助役 区民本位の区政実現に向け創意工夫したものだ。

質問 雇用や中小企業の仕事の確保に積極的に取り組むべきだ。①青年を雇用し資格や技術の習得を支援する企業への助成制度を設けよ。②介護保険の住宅改修制度の利用を促し、区内建設事業者の受注を増やせ。③中学校のエアコン設置工事を区内企業に発注せよ。産業振興部長ほか ①若年層にとって魅力ある企業づくりを促す。②制度の周知や事業者研修に取り組む。③校舎の現況調査を踏まえて検討したい。

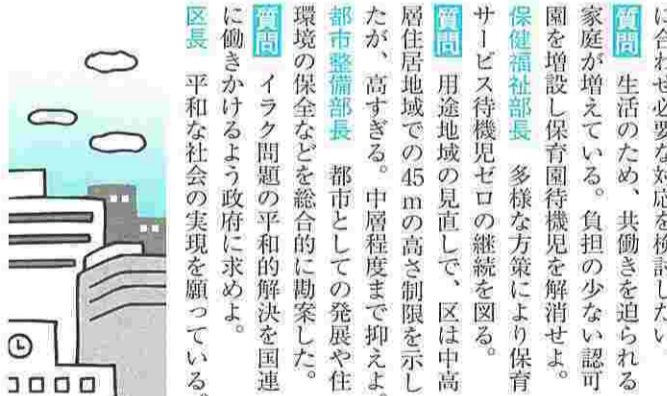
質問 介護保険の第二期事業計画案で示された保険料の引上げはやめよ。保健福祉部長 現実的な案を示した。

質問 障害者福祉の支援費制度への移行では、利用料負担の抑制や基盤整備に努め、現行のサービス水準を守れ。在宅介護部長 新たな制度の進捗状況に合わせて必要な対応を検討したい。

質問 生活のため、共働きを迫られる家庭が増えている。負担の少ない認可園を増設し保育園待機児を解消せよ。保健福祉部長 多様な方策により保育サービス待機児ゼロの継続を図る。

質問 用途地域の見直しで、区は中高層住居地域での45mの高さ制限を示したが、高すぎる。中層程度まで抑えよ。都市整備部長 都市としての発展や住環境の保全などを総合的に勘案した。

質問 イラク問題の平和的解決を国連に働きかけるよう政府に求めよ。区長 平和な社会の実現を願っている。



生活者ネットワーク

森川 礼子議員

質問 区民の区政参画を実りあるものにするにはゼロからの合意形成が大切だ。公募を徹底し議論を活性化させよ。区長 時代に即した住民参画を進める。

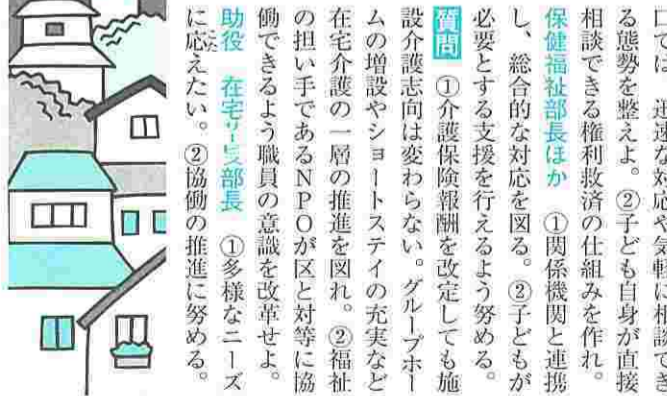
質問 清掃事務組合に対し、各区のゴミ減量の成果に応じた分担金の算定など、区側の意向の十分な反映を求めよ。清掃部長 見直しを主張する。

質問 後世に誇れるまちをつくるため、総合設計制度による開発にも一定の規制を設けよ。②風景づくりなどの世論を先導する取り組みを一層推進せよ。都市整備部長 ①検討している。②区民との協働による街づくりを進める。

質問 地球温暖化防止に向けた地域の取り組みを更に拡大することが大切だ。①エコライフ活動などによる温室効果ガスの削減効果を公表せよ。②学校での環境教育を通じて家庭へも啓発せよ。環境対策室長ほか ①効果を数値として把握し、啓発に活用する。②学校から地域に発信できるよう指導していく。

質問 子どもの虐待の防止は緊急の課題だ。①開設予定の子ども家庭支援窓口では、迅速な対応や気軽に相談できる態勢を整えよ。②子ども自身が直接相談できる権利救済の仕組みを作れ。保健福祉部長ほか ①関係機関と連携し、総合的な対応を図る。②子どもが必要とする支援を行えるよう努める。

質問 ①介護保険報酬を改定しても施設介護志向は変わらない。グループホームの増設やショートステイの充実など在宅介護の一層の推進を図れ。②福祉の担い手であるNPOが区と対等に協働できるよう職員の意識を改革せよ。助役 在宅介護部長 ①多様なニーズに応えたい。②協働の推進に努める。



社会民主党

唐沢 としみ議員

質問 真の住民自治の確立に向け、地域行政制度を一層充実すべきだ。NPOなど市民の力を活用し、地域の新たな課題に対応できる体制を構築せよ。助役 区政の構造改革を進め、地域の課題解決に力を注ぐ。

質問 担当部署が分散している文化行政は、財団の統合を機に再構築せよ。生活文化部長 総合的に施策を進める。

質問 厳しい財政下での福祉水準の維持には新しい公共の推進が不可欠だ。区民や事業者との協働を一層進めよ。保健福祉部長 様々な手法を組み合わせて支援と協働を行っていく。

質問 用途地域の見直しは、新たな規制による影響などを明示し、街の将来像を区民と共有しながら進めよ。都市整備部長 積極的に情報を提供し、住民主体の街づくりを支援していく。

質問 学力低下が懸念されるなど、公教育への信頼が揺らいでいる。特色ある学校づくりを一層進め、区立校の魅力を積極的にアピールせよ。教育長 多様な手法で情報を発信する。



一般質問

3月4日及び5日の本会議では32名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その要旨をお伝えします。

川上 和彦議員(自民)

質問 ①低層住宅地の用途地域の見直しに当たり、敷地面積の最低限度を指定するのであれば、容積率と建ぺい率を緩和せよ。②総合型地域スポーツクラブが地域の自主的な活動となるよう、NPOによる運営を目指せ。③オウム教団への団体規制法の観察処分は延長されたが、問題が解決したわけではない。職員による監視体制は継続せよ。

谷 逸子議員(公明)

質問 ①利便性や収納率の向上が期待できる、コンビニでの国保料の収納を実施せよ。②前立腺がんの増加が懸念される。③区民向け講座を定期的に開催するなど知識の普及啓発に努めよ。④早期発見が可能なPSA検査法を健診事業に導入せよ。⑤増加する老朽マンションへの対策が急務だ。改修アドバイザー制度の活用など支援策を拡充せよ。

荒木 義一議員(自民)

質問 ①小田急線梅ヶ丘〜成城学園前駅間の在来線の立体化が完成した。②踏切解消の経済効果を示せ。③経堂駅では交通広場が整備されるが、(ア)計画事業の進捗状況を示せ。(イ)駅前駐車場の代替施設を確保せよ。④経堂駅への急行停車を実現せよ。⑤都立病院改革を機に、松沢病院で緊急の際の地域住民の受入れを都に強く要請せよ。

飯塚 和道議員(公明)

質問 ①20代の年金保険料収納率が低下しており、若年層の年金離れは深刻だ。制度への理解が深まるよう、区でも啓発を強化せよ。②若年層の雇用対策が急務だ。③定職に就かない若者への職業意識の啓発や就労支援を行う相談窓口を設けよ。④新卒者の早期離職の防止に向け、就職前に適性や適職を判断できる就業体験事業を拡充せよ。

策が急務だ。①定職に就かない若者への職業意識の啓発や就労支援を行う相談窓口を設けよ。②新卒者の早期離職の防止に向け、就職前に適性や適職を判断できる就業体験事業を拡充せよ。

岩本 滋昌議員(公明)

質問 ①居住支援制度の普及に向け、①区が直接貸主を対象に制度を説明し協力を求めよ。②相談窓口を支所にも設置せよ。③相談窓口を支所にも設置せよ。④国土地院の移管で区の所有となる土地は、道路の幅員など街づくりに活用せよ。⑤千歳烏山駅のバリアフリー化が遅れている。改善されるまでの間、車椅子用スロープを高齢者などにも開放するよう求めよ。

原田 正幸議員(自民)

質問 ①0〜3歳児では在宅での子育てが約8割を占める。核家族化などにより育児に不安を持つ親を支援するため、児童館での子育てひろばなどを全区で充実せよ。②大井町線の改修計画では二子玉川駅から緑ヶ丘駅までの立体化を図るべきだ。区の方針を示せ。③奥沢在宅サービスセンターの整備や運営には、地域の要望を十分に生かせる。④社会福祉協議会の子育てサロンなども支援する。⑤住民の理解を得て全線地下化を実現したい。⑥地域に開かれた施設としたい。

小泉 たま子議員(新風21)

質問 ①小学校を地区の中心に据え、コミュニティの活性化に取り組みたい。②学校は支所で所管し、地域活動の場として有効活用せよ。③高齢者の生き生きとした暮らしを支えるため、④定期的に使える活動の場を確保せよ。⑤商店街にベンチなどを設置せよ。⑥区民に最も身近な出張所で、区のサービスが完結するよう機能を拡充せよ。

結支所長ほか ①関係所管と十分相談したい。②多様な方策を講じる。③商店街に働きかける。④情報機器の配備を進め様々な要望に対応していく。

上島 よしもり議員(自由)

質問 財政状況が厳しい中、次期実施計画に本庁舎の建て替えの検討が明記された。①区民の理解が得られるよう、既存施設を改修した場合のコストなどと比較検討し、建て替えの必要性を示せ。②電子化の進展などにより行政組織や庁舎の機能も変革を迫られる。建設ありきでなく、将来の行政のあり方を見直し、まず課題の検討から始めよ。

あべ 力也議員(民・無)

質問 ①国分寺崖線の貴重な緑の保全が重要だ。都に開発許可権限の委譲を求め、住民の協力が得られる条例を制定するなど、区独自の施策を展開せよ。②発行予定の区民公債を重要課題である駐輪場整備などの財源とし、区民の区政への関心を高めよ。③雇用のミスマッチが高失業率の一因だ。相談体制を強化し、雇用と就業の促進を図れ。

板井 斎議員(公明)

質問 ①身近で葬祭が行える場の確保が急務だ。地区会館を優先利用できるよう条例を改めよ。②介護保険の充実に向け、①支給限度額以上の利用が続く場合は要介護度の変更を行え。②難病などにより保険給付を受ける壮年層向けのサービスを充実せよ。③ショートステイの不足には、既存のデイサービスセンターへの併設などで対応せよ。



下条 忠雄議員(反政)

質問 ①既得権益を守る見返りに選挙を行うとする区長と清掃労組との協定は地公法違反だ。法の遵守を徹底せよ。②刑事罰を受けた選管委員の会社が再び独禁法違反の疑いがあると報じられたが人格高潔が法的要件だ。辞職を求めよ。③納税者に医師会への業務委託単価の、①1点14円を10円にしない理由を示せ。②30銭の下げ幅根拠も示せ。

奥村 まき議員(民・無)

質問 ①小学校の緑化は環境教育の絶好の機会だ。児童参画で進めよ。②校舎改築では通風や採光にも配慮せよ。③中学校の冷房機設置では適切な使用基準を定めよ。④子どもたちの意見を区政に生かすという子ども条例の趣旨を職員に徹底せよ。⑤新しい子ども家庭支援窓口では、①専門職員が対応せよ。②夜間や休日の相談体制も整備せよ。

村田 義則議員(共産)

質問 ①増え続ける特養ホーム待機者の解消には大幅な増設で対応すべきだ。①奥沢地区への整備を急げ。②第二期介護保険事業計画案の計画数では不十分だ。再検討せよ。③サラ金などからの多重債務による被害が急増している。弁護士紹介だけでなく、NPOと連携した相談事業を行え。④玉川地域には認可保育園が少ない。増設せよ。

石塚 一信議員(自民)

質問 ①人に対する優しさや思いやりが失われつつある中で、車椅子体験や奉仕活動を学校教育で行うことは大変有意義だ。児童生徒の体験を家庭や地域に伝え、地域社会全体での取り組みにつなげよ。②特養ホームのベンチは高齢者には使いにくいデザインのものや破損して使えないものもある。利用者の立場に立った施設整備を心掛けよ。

1サービス水準を維持せよ。③親亡き後の不安解消に向け権利を守る仕組みを充実せよ。④子どもたちから障害を理解し思いやりの心が育つよう、土日を利用し福祉施設の訪問事業などを行え。

大場 康宣議員(自民)

質問 ①区民サービスの向上には、他自治体や民間の先進事例に職員が直接触れて学ぶ機会も必要だ。視察研修を拡充せよ。②民間団体の個人情報情報が区から外部に流出する事件があった。再発防止に万全を期せよ。③公園整備では、①雨水利用や浸透舗装の基準を作り積極的に取り入れよ。②地域のシンボルとなるような特徴を盛り込め。

山内 彰議員(自民)

質問 ①楽しく学び、学力も身に付く魅力ある学校にすべきだ。休日となった土曜日を活用し、①学力向上策を工夫せよ。②地域のスポーツ、文化活動を支援せよ。③協会社経営の疑似体験を通じ、責任感や意思決定力などを養うプログラムの中学校に導入せよ。④中学生が主体的に進路を選べるよう職場体験などを重視した進路指導を行え。

皇山 晋一議員(自民)

質問 ①下北沢駅前広場や補助54号線の都市計画が決定された。①にぎわいあるまちづくりを着実に進めよ。②井の頭線の盛土部分を高架化し下部空間の活用を事業者に求めよ。③パブリックシアターの集客力が地元商店街の活況につながるよう工夫を凝らせよ。④子ども連れ用の授乳施設の設置など、商店街の創意工夫による事業を支援せよ。

北沢支所長ほか ①事業認可に向け道路予定地の測量を始める。②地元要望の実現に向け調整を続ける。③地域の活性化に努める。④事業展開を促す。

一般質問

3ページの続き

長谷川 義樹議員(公明)

質問 区立校でも学校間競争が求められる中、施設格差の解消は不可欠だ。大規模改修と年間1校の全面改築に加え、一部改築の考え方も取り入れて施設の改善を迅速に進めよ。不安心して外出できるようにコンビニのトイレ開放を更に求めるべきだ。①協力店を増やせ。②協力店ステッカーのデザインを公募し、区民への周知に役立てよ。

教育次長ほか

質問 各校に適用した改築や改修に積極的に取り組む。①利用状況を見て検討する。②全国的に使われている標準案内用記号を当面使用する。

菅尾 淑議員(共産)

質問 男女共同参画社会の実現に向け実効性ある施策が求められる。条例を制定し執行体制を強化せよ。①北烏山に建設予定の超高層住宅は、周辺環境の悪化をもたらす。見直しを求める陳情が意見付採択された結果も踏まえ、建築規模の縮小を事業者に強く指導せよ。②聴覚障害者の利便性向上のため、窓口での手話通訳対応を充実せよ。

区長 生活文化部長ほか

質問 幅広く意見を聞いていく。①高さを抑えるよう引き続き強力に要請する。②手話のできる職員の養成に努める。

鈴木 昌二議員(自民)

質問 ①学力低下への保護者の不安を解消するため、教員の指導力向上に努めよ。②不登校の子どもの対応が重要だ。民間教育機関なども連携し取り組みを強化せよ。③地域のスポーツ団体などの活性化に向け、学校施設を更に開放せよ。④人間形成の基礎となる礼儀やマナーを習得させることは家庭の役割だ。家庭教育を一層支援せよ。

教育長 教育政策部長

質問 ①研修の充実などに取り組んでいく。②多様な手法を工夫する。③有効利用の促進など支援を充実する。④取り組みを強化する。

岸 武志議員(共産)

質問 ①外環道建設は、自然や住環境を破壊し、1m当たり数千円もの建設費が必要だ。①計画は白紙に戻せ。②国と都は住民との協議を無視し、大

深度地下方式による建設を打ち出した。抗議せよ。②都内で生産された農産物から、発がん性のある殺虫剤成分が検出された。区内農地でも関係機関と協力するなど土壌の残留農薬調査を行え。

建設住宅部長ほか

質問 ①渋滞解消などに有効であり、必要な道路と認識している。②選択肢として示されたものだ。③選肢として示されたもの。④選肢として示されたもの。

大庭 正明議員(行革10番)

質問 北朝鮮問題の緊迫化や原発休止による電力不足など内外の情勢への危機感が高まっている。これは国だけの問題ではなく、一たび事が起れば区民に直接被害が及ぶ。区が権限を理由に国に判断を任せていては区民を守れない。区民への影響を予測し率先した対策を講じるべきだ。予算編成にも同様の視点が不可欠と考えるがどうか。

政策経営部長

質問 15年度予算では、区民サービスを低下させない観点を重視すると共に、15億円の財源を留保し、状況の変化への対応も考慮している。

羽田 圭二議員(社民)

質問 ①少子高齢化対策に力を注ぐべきだ。①男女共同参画の視点から子育て環境の充実を図れ。②特養ホーム待機者を解消せよ。③高齢者が安心して暮らせるよう生活協力員の配置を拡大せよ。④小児救急など地域医療体制を充実せよ。⑤用途地域見直しでは壁面後退や斜線規制も強化し圧迫感の解消など景観に配慮した街づくりを進めよ。

在宅介護部長ほか

質問 ①子どもプランに生かす。②在宅サービスの充実を図る。③支えあい活動を支援する。④取り組み。⑤地区計画を活用する。

田中 優子議員(市民)

質問 ①地球温暖化の防止には、区民一人ひとりの行動の積み重ねが不可欠だ。家庭や事業所が費用をかけずに実践活動に取り組める世田谷版ISOを作成し普及させよ。②国際交流による異文化との接触で国際感覚を身につけることが、平和を愛する心につながる。近隣アジア諸国の文化を学ぶ区民主体の交流活動を積極的に支援せよ。

助役 環境対策室長ほか

質問 ①区民や事業者が自ら目標を設定し取り組める仕組みを検討する。②関係所管と連携しアジアを学ぶ機会の充実を努める。

小畑 敏雄議員(自民)

質問 ①地籍調査は土地の境界を確定させ、売買の迅速化に資するなど経済効果が大きい。本格実施に力を注げ。②区画整理事業は精度の高い測量を行い図面を作成している。土地の売買に際し境界確定作業を省略できるよう道路の区域証明を発行せよ。③外環道の整備促進に向け、完成後の環境対策を示すなど近隣住民の不安解消に努めよ。

建設住宅部長ほか

質問 ①計画的に取り組んでいく。②4月から発行する。③国の動向などを見極め、周辺住民の意見を把握して対応していきたい。

山口 拓議員(民・無)

質問 ①校庭の芝生化は緑化だけでなく、けがの防止など多くの利点がある。モデル校を選定し早急を実現せよ。②今後も国有地などの売却に伴う大規模開発が予想される。事前の情報収集に努め、周辺環境に調和した開発を誘導せよ。③回遊式は定年を迎えた人の地域での交流を深める機会として大変有意義だ。内容を更に充実し継続せよ。

教育次長ほか

質問 ①適切な管理手法の調査を続ける。②開発に合わせた誘導方針を作成し取り組む。③多様な手法で地域活動への参加を支援していく。

小野 裕次郎議員(民・無)

質問 ①障害も個性と認め、お互いを尊重し合える社会を目指すべきだ。障害児と健常児と一緒に学ぶ統合教育を実現せよ。①学年を廃し子どもの学力に応じて指導する制度の導入など、大胆な教育改革に取り組め。②教員自らが能力の向上を図れるよう、支援体制を強化せよ。③子育て支援の強化に向け、実効性ある行動計画を策定せよ。

教育長 教育政策部長ほか

質問 ①引き続き多様な施策を展開する。②研修などを充実する。③回数目標の設定も検討する。

新川 勝二議員(自民)

質問 ①マンション開発による建築紛争が絶えない。NPOと連携し専門的な相談室を設けるなど相談機能を強化せよ。②災害時に区民の安全を守るには区だけでは限界がある。ポータスカウトなど民間団体との協力関係を拡大せよ。③高校中退者が後を絶たない。生徒が主体的に進路を選択できるように中学校での進路指導を充実させよ。

教育長 世田谷支所長ほか

質問 ①粘り強く建築紛争の解決に努めていく。②協議を進めている。③自己実現を図る生活設計ができるよう指導する。

菅戸 教男議員(自民)

質問 ①京王線沿線は鉄道の立体化が進まず、交通渋滞やまちづくりの遅れなど課題が山積みだ。①立体化事業への早期着手を求める住民の声に応えよ。②早期解消が急がれる踏切では道路を仮設高架にするなど対策を施せ。③梅ヶ丘病院の跡地は隣接施設と一体的に小児医療に生かす。④小児救急医療施設の診療時間の延長を検討せよ。

都市整備部長ほか

質問 ①地元と共に立体化の推進に取り組む。②暫定的な改善整備を検討する。③④地域医療の環境整備を図る。⑤機能充実を努める。

木下 泰之議員(無党派)

質問 小田急線の、①連立事業認可の取消しを命じた地裁判決への見解を示せ。②夜間工事が必要か精査したか。③環境アセス条件違反の突貫工事は中止するよう強く要請せよ。④下北沢駅周辺の工事での騒音予測を示せ。⑤一審違法判決の事業と接続する下北沢地区の都市計画決定は法的、道義的に誤りだ。

区長 環境対策室長ほか

質問 ①控訴審の判断を待つ。②必要な工事と考える。③今後も関係法令の遵守を求める。④環境負荷の低減を図る。⑤問題はない。

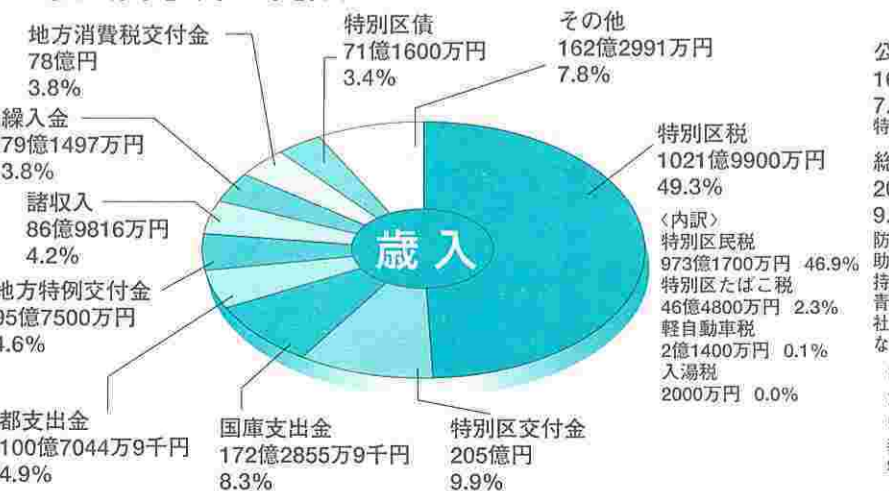
会派名

自民 自由民主党区議団 公明 公明党区議団 民 無 無所属クラブ 共産 日本共産党区議団 生活 生活クラブ 福祉 福祉クラブ 社民 社会民主党区議団 反政 反政 改革派 行革 行革10番 世田谷行革10番 無党派 無党派市民 新風21 新風21 自由 自由党世田谷 市民 世田谷市民クラブ

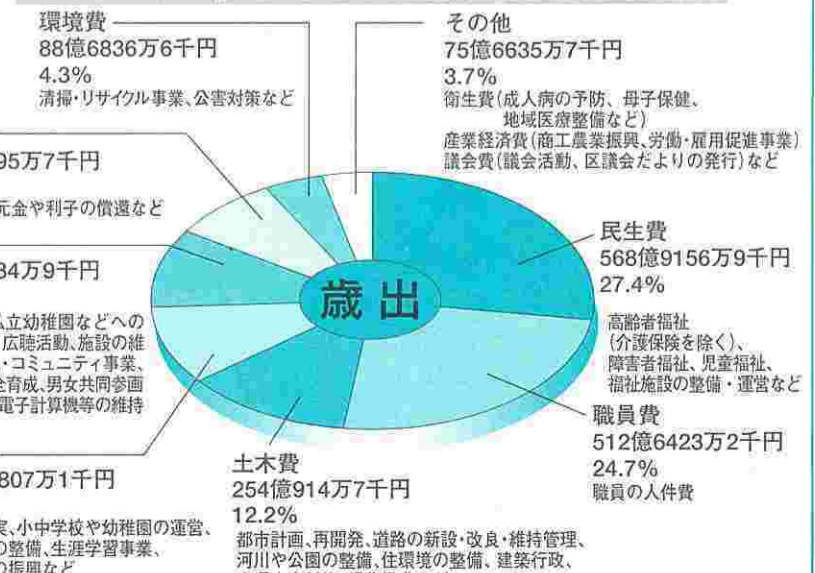
●平成15年度各会計予算●

Table with 3 columns: 内容 (Content), 金額 (Amount), 対前年度比伸び率(%) (Change rate vs previous year). Rows include 一般会計 (2073億3204万8千円, -0.4%), 国民健康保険事業会計 (600億3683万9千円, 7.5%), 老人保健医療会計 (582億4916万5千円, -7.5%), 介護保険事業会計 (301億2319万5千円, 4.1%), 中学校給食費会計 (3億9596万円, -3.6%), 計 (3561億3720万7千円, -0.0%).

一般会計予算の内訳 (%=構成比)



平成15年度 予算のあらまし



予算特別委員会での 主な質疑・要望事項

平成15年度予算の審査のため予算特別委員会を設置し、7日間にわたり慎重に審査しました。その要旨をお伝えします。

企画総務領域

自由民主党

- 政令市実現への積極的な取り組み
- 構造改革特区制度の積極的な活用
- 外郭団体の効率的な運営の指導
- 大規模未利用地の適正な開発誘導
- 区内大学と連携した施策の拡充
- 財政自主権の確立（都区財調制度の改善、固定資産税の税源移譲の要請）
- 使用料や利用料の受益者負担の徹底
- 区民公債債を活用した本庁舎の改築
- 地元金融機関での区民公債債の発売
- 契約先の経営状況の把握の徹底
- 震災時の被害を抑制する対策の強化
- 景気動向を踏まえた公金の安定運用

公明党

- 構造改革特区への積極的な取り組み
- 行財政改革への取り組み強化（財源の確保、政策評価結果の活用など）
- 重点課題への集中的な予算配分
- 電子自治体実現への取り組みの強化（電子調達システムの導入、区民へのPRなど）
- 防犯体制の強化（専管組織の設置、独自のパトロールカーの巡回など）

民主党・無所属クラブ

- 電子政府実現への取り組みの推進
- 経営感覚に基づく区施設の維持運営
- 個人情報保護の徹底
- 組織を活性化させる人事制度の工夫
- 区民が安心して暮らせる地域の実現

日本共産党

- 次期区長を拘束する計画策定の中止
- 大規模開発事業の実施計画化の再考
- 区民に負担を強いる予算案の見直し
- 本庁舎改築構想の見直し
- 投票所区域を見直し増設をはかれ
- 生活者ネットワーク
- 数値目標を設定した行政評価の実施
- 区民本位の電子政府世田谷の実現

社会民主党

- 福祉重視の公共事業への質的転換
- 投票整理券の性別別欄の廃止

反政党・改革派

- 選挙時の職員の政治的中立の厳守
- 世田谷行革10番
- 管理職の削減による人件費の抑制
- 無党派市民
- 借金グリーンボンドでなく緑予算を
- 新風 21

自由民主党

- 小学校の所管の支所への移管
- 自由党世田谷
- 職員の成績特別昇給制度の改善
- 世田谷市民クラブ
- 地域人材の区政への積極的な活用

区民生活領域

自由民主党

- 世田谷支所の窓口の混雑解消
- まちづくりでの区内大学との連携
- 災害時助けあいネットワークの構築
- 安全安心まちづくりの強力な推進
- オウム対策での住民活動支援の強化
- エコマナーの普及促進
- 若者の消費者被害防止策の強化
- 中小企業のディーゼル車対策の支援
- 商店街振興策の拡充（都補助金の活用、大型店の地域貢献の要請など）
- 清掃事業の民間委託の強力な推進
- 資源回収での抜き取り防止策の強化
- 資源循環型社会の実現に向けた啓発

公明党

- 地区会館の葬祭利用優先の条例化
- 身近なまちづくり協議会の活性化
- 区民の安全安心を守る施策の強化
- 消費生活相談のさらなる充実
- ポイ捨て防止への取り組み強化
- ハローワーク分室の区内設置の要請
- 産業振興公社の設立
- ごみの夜間収集の早期実施
- 民主党・無所属クラブ
- 地区防災訓練への参加の促進
- NPOへの支援強化
- リサイクル施策の一層の推進
- 生ごみ減量に有効な水切りの普及
- 清掃車の交通事故防止策の強化

日本共産党

- 区独自の外環道環境影響調査の実施
- 公衆浴場の設備改善助成の拡充
- 区内業者の受注機会の拡大
- 倒産防止融資の貸付条件の緩和
- 清掃工場建設協議会構成員の拡大
- 生活者ネットワーク
- 世田谷清掃工場改築での環境配慮
- 製造者責任によるリサイクルの徹底
- 社会民主党
- 住基カードの個人情報保護の徹底
- 区内での雇用創出への取り組み強化
- 反政党・改革派
- 出張所職員の削減など徹底改革
- 世田谷行革10番
- 子どもに社会的自覚を促す取り組み
- 無党派市民
- 小田急線夜間工事を即中止させよ
- 新風 21
- 地区の活動拠点としての小学校活用
- 自由党世田谷
- 清掃事業のあり方の広範な議論
- 世田谷市民クラブ
- 性同一性障害者に配慮した行政対応

福祉保健領域

自由民主党

- 小児救急医療体制の拡充
- 介護保険での区民負担の公平性確保
- 介護サービス改善への取り組み強化（ケアマネージャーの資質向上、ヘルパーの実技研修の充実など）
- 区民の福祉活動団体の自立の促進
- 地域の支えあい活動への支援の拡充
- 子どもの虐待防止への取り組み強化
- 現行の国民皆保険制度の堅持
- 国保料徴収率の向上
- 前立腺がん検診の実施
- 障害者支援費制度への円滑な移行
- 障害児の成長を支える施策の充実
- 公明党
- 小児初期救急施設の診療時間の延長
- 介護サービスの質の一層の向上

民主党・無所属クラブ

- 公設民営による認可保育園の増設
- 歯の健康づくりへの取り組み強化
- 出産前後の母親への支援拡充
- 支援費制度の障害児サービスの充実
- 障害者の文化芸術活動への支援強化
- ひまわり荘の早期建て替え
- 区内の小児医療体制の充実
- 松沢病院での地域医療実施の要請
- 介護保険の在宅サービスの充実
- 区立特養ホームの短期入所枠の拡大
- 精神障害者社会復帰支援施設の整備
- 日本共産党
- 介護保険の低所得者対策の拡充（保険料減額基準の緩和、利用料軽減率の据置きなど）
- 高齢者の医療費支払方法の改善
- おはよう訪問の有料化検討の中止
- 生活者ネットワーク
- 区独自の福祉の第三者評価制度創設
- 介護付きケアハウスの整備促進
- 社会民主党
- 施設入所に頼らない地域福祉の実現
- 新BOPの障害児受入れ態勢の整備
- 反政党・改革派
- 医師会等に対する利益供与の是正
- 世田谷行革10番
- 保健所の集合住宅修繕講習会の意義
- 無党派市民
- 基本健康診査の独占高額契約解消を
- 新風 21
- 保育園や児童館などの支所への移管
- 自由党世田谷
- 介護報酬の不正請求への万全な対策
- 世田谷市民クラブ
- 福祉サービス改善の専管組織の設置

都市整備領域

自由民主党

- 地域の特色を生かす街づくりの推進
- 西部地区地区計画推進への取り組み
- 私道整備補助制度の柔軟な運用
- 土地の境界確定事務の円滑な実施
- 地籍調査の着実な実施
- 準工業地域を保全する建築規制設定
- 放置自転車対策の一層の取り組み（地下駐輪場の増設、三軒茶屋駅周辺での駐輪場の確保など）
- 良好な住環境の保全（大規模開発への

公明党

- の対策強化、空地確保の制度化）
- 外環道の整備に向けた取り組み強化
- 上野毛自然公園の湿地帯の回復
- 千歳船橋駅周辺の歩行空間の改善
- 大原・羽根木地区のバス路線の拡充
- 下北沢駅周辺街づくりの推進
- レンタサイクル利用の一層の促進
- 公共工事トータルコスト削減の徹底
- 目黒川緑道への親水空間の整備
- 区立公園へのドッグランの整備
- ピオトップ整備の促進
- 民主党・無所属クラブ
- パリアフリーの街づくりの促進
- 屋上緑化への支援体制の強化
- 京王線立体化の早期実現
- 放置自転車解消への取り組み強化
- 家屋の耐震補強の促進
- 日本共産党
- 三子玉川再開発の見直し
- 地区計画の住民提案制度の早期導入
- 用途地域見直しでの高さ制限の強化
- 三軒茶屋駅周辺路上への駐輪場整備
- 成城学園前駅への駐輪場の早期増設
- 生活者ネットワーク
- 屋上緑化促進への強力な取り組み
- 住民参加による公園整備の推進
- 社会民主党
- 災害復興条例の早期制定
- 道路事業の事前説明対象地域の拡大
- 反政党・改革派
- 借金増大の大型公共事業からの脱却
- 世田谷行革10番
- 高層マンションへの災害対策の指導
- 無党派市民
- 道路計画再考で路地の街下北沢守れ
- 新風 21
- 施設整備と公共交通機関との連携
- 独自の自転車道整備手法の検討
- 世田谷市民クラブ
- 利用率の低い下高井戸駐輪場の転用

文教領域

自由民主党

- 特色ある学校づくりの推進
- 中学生評議員会の一層の活性化
- 教職員の学校防犯訓練の拡充
- 学校用務と児童擁護の職の統合

公明党

- 総合型地域スポーツクラブの育成（各出張所地区での設立の支援、文化系活動への拡大など）
- 区立幼稚園の早期廃止
- 子どもの食生活改善への取り組み
- 新BOP職員の非常勤化の推進
- 子どもへの正しい日本語の指導
- 教員の資質向上への取り組み強化
- 統合後の池尻中跡地の有効活用
- 民主党・無所属クラブ
- 区立校活性化への積極的な取り組み
- 区立校へのピオトップの整備推進
- 千歳小の児童数増加への早急な対応
- スポーツ振興策の積極的な展開
- 区立幼稚園での幼保一体化の実施
- 子どもの読書を促す取り組みの強化
- 都立高と区立中での一貫教育の実施
- スクールカウンセラー事業の拡充
- 社会民主党
- 校庭の芝生化の早期実現
- 区立校での学力向上の取り組み強化
- 教科授業型授業の全区立中での実施
- 総合的学習でのNPOとの連携強化
- 平和資料室事業の拡充
- 日本共産党
- 教職員給与の国庫負担維持の要請
- 学校改築の強力な推進
- 30人学級の早期実現
- 就学援助費の削減の中止
- 夜間中学の通学費援助の削減の中止
- 生活者ネットワーク
- 冷房機の環境負荷を補う学校の緑化
- 学校施設での全面禁煙の実施
- 社会民主党
- 地域に根ざした魅力ある学校づくり
- 家庭教育学級への支援の強化
- 反政党・改革派
- 区立小中学校の学区の撤廃
- 世田谷行革10番
- 教育改革に向けた区立校の実態把握
- 無党派市民
- 学校ピオトップに生態系回復戦略を
- 新風 21
- 小規模校の教育環境の充実
- ゲストティーチャーによる授業拡充
- 世田谷市民クラブ
- 薬物乱用を防止する教育の強化

平成15年度予算に対する 党派意見のあらまし

3月28日の本会議で12人の議員が各党派を代表して、平成15年度各会計予算に対する意見を表明しました。その要旨をお伝えします。なお、意見表明者は次のとおりです。

- 自由民主党＝菅沼つとむ議員
- 公明党＝中塚護議員
- 民主党・無所属クラブ＝山口拓議員
- 日本共産党＝村田義則議員
- 生活者ネットワーク＝山木きょう子議員
- 社会民主党＝唐沢としみ議員
- 反政党・改革派＝下条忠雄議員
- 世田谷行革110番＝大庭正明議員
- 無党派市民＝木下泰之議員
- 新風21＝小泉たま子議員
- 自由党世田谷＝上島よしもり議員
- 世田谷市民クラブ＝田中優子議員



新たな時代の区政に向け さらなる行革の推進を

自由民主党
(賛成意見)

区は少子高齢社会の進行など社会の変化に適切に対応しなくてはならない。新たなサービス需要にこたえるためには、肥大化した行政をスリム化し、そこで生じる余力を必要とされるサービスに振り向けるべきだ。小さな行政の実現に向け、次の4点を行革の重点課題として全力で取り組む。

第一に、職員の大幅削減の断行だ。平成11年からの10年間で千人の削減が実現できるよう、現業職の職の統合を進め柔軟な人員配置を行え。また、各業務の必要性を十分に見極めよ。

第二に、民間への委託の推進だ。小学校給食の調理業務の委託は予定通り進めよ。また、保育園や幼稚園、図書館業務の委託についても着手せよ。更に、清掃事業は工場の管理運営を含め委託化に強力に取り組め。

第三に、区民負担の適正化だ。区民の税金が公平に還元されるよう、サービス提供のあり方を見直すべきだ。低

所得者へ配慮した上で、すべての施策において受益者負担を徹底せよ。

第四に、職員の意識改革と資質の向上だ。職員の中には、未だサービスの提供者としての自覚に欠ける者が見受けられる。区民の奉仕者であるという原点に立ち返り、区民福祉の向上に全力で取り組め。また、区政は区民の貴重な税金で成り立っていることを深く認識し、分権時代にふさわしい職員育成に努めよ。

11年度からの任期4年間は、厳しい経済状況の中で、国の地方分権の方針や構造改革への対応に追われてきた。国の動向に左右されるばかりの受身の区政運営からは脱却し、様々な困難にひるむことなく、強い決意を持って新たな区政課題に立ち向かえ。

15年度は新たな区長による区政運営が始まる。職員は戸惑うことなく、これを機に、より一層の行革と区民本位の区政の実現に取り組む。



将来展望を持って 行財政改革を断行せよ

公明党
(賛成意見)

先行き不透明な社会状況の下でも、区の将来を見据えた区政運営を行うには、徹底した行政の改革が不可欠だ。区民の視点で税金の使途を問い直し、聖域を設けずあらゆる事業を精査した行財政改革を断行せよ。また、地域行政の充実が行政の肥大化を招かぬよう、出張所のある方などを細密に検証し、制度の見直しを急げ。

区内で凶悪事件などが多発する中、区民の安全安心を守る具体的な対策を講じるべきだ。区民が自ら行うピッキング対策への助成を行え。また、区独自の巡回パトロールを実施せよ。特に、パトロールを兼ねるごみの夜間収集を早急を実現せよ。更に、区民の安全を守るという区と共通の目的を持つ警察などとの連携も、より緊密にせよ。

国は、社会福祉の基礎構造改革への取り組みを進めている。区も福祉の先進自治体として一層施策を充実すべきだ。介護保険の低所得者対策を拡充し、

世田谷型セーフティネットを構築せよ。また、増え続ける特養ホーム待機者の解消に向け、グループホームなども整備し多様な受け皿を用意せよ。更に、障害者支援費制度への移行後も、世田谷の質の高いサービス水準のさらなる向上に全力を挙げよ。

小児救急医療体制の充実に区が責任を持って当たるべきだ。松原や玉川の準夜間の救急医療施設の開設にとどまらず、早期整備に積極的に取り組め。緑被率30%を目指した実効性ある取り組みが重要だ。屋上と壁面の緑化の推進や、学校へのビオトープの整備など、多様な手法を駆使し緑を創出せよ。学力低下など公教育に対する信頼が揺らいでいる中、多くの自治体が小中一貫教育や学校選択制などの独自の改革に取り組んでいる。区も既成概念や国の制度にとらわれることなく、信頼の回復に向けて果敢に挑戦せよ。



行財政改革を一層推進し 区民のための区政運営を

民主党・無所属クラブ
(賛成意見)

新たな実施計画の下で区民サービスの一層の向上を図るためには、安定的な財源の確保が不可欠だ。区民税などを確実に徴収し、自主財源のさらなる確保に努めよ。また、起債の計画的な発行や基金の活用にも取り組め。

電子政府世田谷を推進すべきだ。住基ネットの本格稼働に向けた独自の個人情報保護の条例制定を評価する。ICカードに記録する個人情報の拡大は、情報保護など解決すべき課題も多い。十分に議論を尽くし慎重に進めよ。

資源循環型社会の確立が重要だ。大量生産、大量消費の構造の転換に向け、リサイクルの責任を生産者にも担わせよ。区のリサイクル事業の回収品目を増やすと共に、再生品の利用を積極的に進めよ。清掃事業では、ごみ収集作業の民間委託化や、カラス対策として有効な夜間・早朝収集の実現など、さらなる改善に力を注げ。

放置自転車の解消に向け、駅前の駐輪場の早急な整備や利用率の低いレンタサイクルポートの駐輪場への転換を



区民のくらしを重視し 開発優先予算は再考を

日本共産党
(一般会計と関係会計と介護会計には反対、その他の会計には賛成する意見)

国の経済失政が引き起こした企業の倒産や失業者の増加などで、大きな影響を受けているのは弱い立場の区民や中小零細企業だ。区の15年度予算案も、国の福祉切捨て方針を無理強いするもので、厳しい区民生活に更に追い打ちをかけている。今こそ、開発優先から区民福祉優先の区政運営に転換せよ。

二子玉川再開発や庁舎建設のための基金を財源とした約7億円の予算組替を要求する。約2億円に上る区民福祉の削減は中止せよ。また、介護保険料の値上げを抑制するため、一般会計から介護保険事業会計への繰入れを行え。更に、小学校1・2年生の30人規模学級化などを予算化せよ。

認可保育園への入園を希望する多くの区民の声に応じ一刻も早く増設せよ。また、母子保健院の廃止で不足している小児初期救急医療施設の拡充も急げ。生活の苦しい高齢者世帯が増加している。介護保険の保険料減額と利用料

軽減の条件を緩和し、対象者を拡大するなど、高齢者の負担増を避けよ。中小零細業者の倒産や廃業はますます深刻さを増している。15億円の保留財源を活用し、商店街などの衰退に歯止めをかける実効性のある産業振興施策を展開せよ。また、小規模企業倒産防止資金の貸出し条件を緩和せよ。

高層建築物の建設から住環境や景観を守るには長期的視点による方針が重要だ。用途地域の見直しの中で、区は住居系地域で45mの高さ制限を示したが高すぎる。地域の街づくりにかかわってきた住民などの提案を真摯に受け止め、より厳しい高さ制限に改めよ。

二子玉川再開発事業は、未だすべての地権者の合意には至っていない。15万㎡に及ぶ事務所やホテルの採算見直しにも疑問がある。また、民間による再開発とはいえず、失敗した場合、自治体が影響を受けることは他都市の事例からも明らかだ。事業は即刻見直せ。



馬事公苑

小中学校の学習環境の改善が求められている。小学校の壁面緑化と中学校普通教室への冷房機設置を着実に進めよ。屋上緑化や校庭の芝生化にも取り組め。また、地域コミュニティの核ともなる新しい学校づくりを目指せ。

経済が低迷する中でも区民ニーズにこたえる柔軟な財政運営に努めるべきだ。施策の見直しや内部努力を一層進め、区民のための区政運営を行え。



安心して子育てできる 環境整備に全力を挙げよ

生活者ネットワーク
(賛成意見)

国の15年度経済見通しでは3年連続のマイナス成長が見込まれ、区も引き続き厳しい財政運営を強いられる。このような中でも、15年度予算編成で区債の発行抑制と起債残高の削減に取り組んだことは評価する。

次代を担う子どもの育成を最重要施策として強力に取り組むべきだ。地域で安心して子どもを生み育てられる環境の整備に向け、15年度中に開設予定の子ども初期救急医療施設では、24時間診療を実施せよ。全支所管内への整備も進め、地域の小児救急医療体制を確立せよ。保育サービス待機児を解消するため、保育需要を把握し保護者が多様なサービスを選択できるよう体制を整えよ。また、保育料負担の適正化やサービスの質の向上を目指し、第三者評価制度を早急に導入せよ。

対し、新しい中教審答申では教育基本法改正が提起され、愛国心などを強調した復古的な道徳教育の強化が示された。しかし、問題の抜本的解決に重要なことは、個人の尊厳を根底に据えた教育基本法の精神を教育現場に生かすことだ。区は、この法の精神を再認識し、先駆的な教育の実践に取り組め。街づくりでは、住居系地域への絶対高さと最低敷地面積の制限の導入を評価する。緑豊かで低層住宅が多い良好な住環境を残せるよう、多様な保全策を講じよ。地球温暖化防止にも通じる緑化の推進も強化すべきだ。80万緑化運動に取り組む区として、学校や公共施設の緑化を積極的に推進せよ。

区は様々な分野で区民参画を進めているが、新しい公共の理念に基づいて区民との役割分担を一層明確化せよ。15年度予算では次期区長の政策展開に配慮し15億円を留保した。予算審議で提起した意見を踏まえ有効活用せよ。



烏山フラワーパーク



新しい公共の理念の下 市民社会の実現を

社会民主党
(賛成意見)

経済情勢は一向に好転せず、大変厳しい財政運営が強いられる。そのような中でも不況の影響を強く受ける高齢者や障害者など、社会的に弱い立場におかれている区民への支援は欠かせない。区政運営に当たっては、生活実態をしっかりと把握し、迅速に対処せよ。

区民本位の区政の実現には、区民の意向を的確に施策に反映する執行体制の確立が不可欠だ。新しい公共の理念の下、職員の意識改革を進め、区民との協働を着実に推進せよ。少子高齢化の進展や障害者支援費制度の導入など、福祉ニーズの増大が必ずだ。現行サービス水準を低下させることなく、地域保健福祉を充実せよ。中小零細企業への支援や就労支援の拡充が急務だ。国や都に任せるだけでなく、区独自の施策を積極的に展開し、地域経済の活性化に全力を挙げよ。環境施策を区民と一体となって進めべきだ。国分寺崖線の緑の保全や80

万緑化運動など、協働による取り組みを拡大し、区民の気運を高めよ。街づくりの推進では、街全体の将来像を明示し、区民の理解と協力を得ながら進めることが重要だ。用途地域の見直しは、マンション紛争やミニ開発などの課題を踏まえ、区民への十分な情報提供に努めながら進めよ。

次代を担う子どもの育成には、現行の学校教育の枠にとどまらない、地域と一体となった取り組みが不可欠だ。地域の人材の積極的な活用などを図れ。また、子ども条例の理念が実現できる地域社会の構築に力を注げ。住基ネットでは、個人情報保護を徹底すべきだ。個人情報記録する住基カードへの新たな情報の付加については、慎重に対処せよ。文化行政では、今後も美術や演劇などに直接触れる機会を拡充し、区民に潤いと安らぎを与える文化都市世田谷の発展に一層尽力せよ。



区政の私物化を徹底糾弾する

反政党・改革派
(反対意見)

区は特定政党と関係のある医師会、歯科医師会に法外な利益供与をしているが、全体の奉仕者にあるまじき行為だ。是正せよ。学校を選ぶのは区民だ。学区を撤廃せよ。機械化を進め出張所の職員を削減し、遊び半分の仕事を

作るな。資金的に実現不可能なエイトライナー等大型公共事業から脱却せよ。区長と清掃労組との選挙支援の密約。議員の海外視察時の豪華ホテルでのゴルフなど区政の私物化を徹底糾弾する。



危機を予測し区民の安全を守れ

世田谷行革110番
(賛成意見)

イラクで戦争が始まり原油の安定供給が懸念される一方、国内では原発休止による電力不足の可能性が報道されている。これらの情勢に区民が抱いている漠然とした不安は、経済やライフラインの問題として顕在化し区民生活

21世紀は環境の世紀だ。大場区政は、緑被率の低下や公害問題が深刻になった時期に誕生した。この28年間緑豊かな住宅地域である区にふさわしい政策を打ち出さなかった。地域住民の意見には耳を貸さず、当初反対した小田急

を直撃する恐れがある。区民の生命や財産を守ることは区の使命だ。大規模な停電時の避難所として、学校の活用を想定するなど、全体の奉仕者として区民への影響を予測し危機に備えよ。



環境の世紀を市民と共に歩め

無党派市民
(反対意見)

線高架化の推進にまわり、大規模再開発や外環道推進を容認した。80万緑化を唱えても、違法高架への住民側コリドー代替案のような生態系回復の視点がない。不信任として全予算に反対。



地区を活性化する施策の展開を新風21

自由党世田谷
(賛成意見)

地区コミュニティは暮らしの基盤となるものだ。さらなる活性化に向け、地区から行政のあり方を見直すべきだ。地区を形づくる小学校の学区は撤廃せず、学校施設の管理を支所に移管し、地区の中心施設として積極的に活用せ

よ。また、区民に最も身近な出張所は地区での行政サービスの拠点だ。提供サービスを拡充せよ。最前線の組織としての利点を生かし、区民の生の声に耳を傾け一層の施策の充実を図れ。



責任を明確にした行政運営を自由党世田谷

世田谷市民クラブ
(賛成意見)

山積する区政課題の解決には、急激な社会状況の変化に機敏に対応することが必要だ。そのためには、継続性を重視する行政主導型から、責任の所在を明確にした政治的決断による区政運営への転換が求められる。職員は自ら

の仕事に一層の自信と信念を持ち、区民の思いを真摯に受け止められるよう意識改革を徹底せよ。新たな区長と議会の下、真に自立した自治体を目指した取り組みを積極的に進めよ。



区民の視点で施策を展開せよ世田谷市民クラブ

親への支援に取り組み。また、高齢者の介護予防や健康増進を図る施策を充実せよ。更に、区立校での少人数教育を拡充せよ。区民の生活を守る安全で安心なまちづくりにも全力で取り組み。

第2回定例会は、6月に開催する予定です。

区長の区議会招集 あいさつ(要約)

我が国経済の名目成長率は3年連続のマイナス成長が見込まれるなど、厳しい経済状況が続いています。こうした中、区は直面する諸課題を受け止め、新たな実施計画と行財政改善推進年次計画の着実な推進を基本に、区民生活を停滞させない予算編成に努めました。地域の活性化に向け、区民、事業者、行政が協働する新しい公共を支える仕組みづくりを進めると共に、区内で取り組まれている地域通貨の幅広い流通を支援する施策などを実施します。

楽しく歩ける商店街づくりなど、商店街の環境整備を積極的に支援します。また、区内中小企業への就労相談など仕事に関する総合相談を実施します。福祉部門に就労支援専門員を配置し、生活保護受給者の就労も支援します。国分寺崖線の緑を守るため、総合的な施策を展開します。また、住民参加型ミニ公募債を発行し、その財源を崖線の保全などに活用します。更に、地球温暖化対策では、温室効果ガスを削減する区民活動の支援や屋上緑化などへの助成に取り組みます。

子どもの健康を守る小児初期救急医療施設を2カ所開設します。また、子ども家庭総合相談窓口を拡充し、子育ての地域ネットワークづくりを図ります。更に、保育サービス待機児ゼロの維持と病後児保育の拡充に努めます。介護保険サービス利用者への支援を継続すると共に、都内自治体初の要介護高齢者の筋力向上モデル事業を実施します。また、障害者福祉の支援費制度への円滑な移行に努め、グループホームの運営を引き続き支援します。

都市基盤整備では、公共施設などのバリアフリー化が重要課題です。駅へのエレベーターの設置、医療施設や店舗の段差解消への助成など、だれもが安心して暮らせる街づくりを進めます。教育環境を充実するため、学校改装や中学校普通教室の冷房化を進めます。少人数教育の推進や特色ある学校づくりに積極的に取り組めます。

議決内容のつづき

- 工事請負契約の変更 1件
 - 梅丘中学校プール等改築工事 (全員賛成)
- 区道路線の認定 4件 (全員賛成)

所在地	延長(m)
喜多見 7・8	80・26
喜多見 9・27	35・67
喜多見 9・2	21・78
上祖師谷 6・2・3	119・00

- 町区域の変更 1件
 - 賛成多数 賛成：自民、公明、無党、生活系、社、反改、行革、新風、自由、市民、反好、無党
 - 小田急線連立工事による線路の位置変更に伴い、町区域を変更する。
- 公の施設の区域外設置に関する協議 1件 (全員賛成)
 - 区が設置する仮称ピール坂緑地の一部が調布市にまたがるため、調布市と協議することとした。
- 議員提出議案 3件
 - イラクへの軍事行動の即時中止を求める決議
 - 賛成多数 賛成：自民、無党、生活系、社、反改、行革、新風、自由、市民
 - イラクにおける平和の実現を願う決議
 - 賛成多数 賛成：自民、公明、行革、新風、自由、市民、反好、無党

決 議

イラクにおける平和の実現を願う決議
大量破壊兵器の脅威を除去することは、国際社会全体の平和にかかわる重要な課題である。

国連決議に基づき、周年より、イラクの大量破壊兵器等に関する査察が実施されてきた。しかし、イラク側の協力が得られぬまま、12年間経過し、有志国によるイラクへの軍事行動に至ったことは、極めて遺憾な事態である。

意見書

区議会は、次の意見書を関係機関あてに提出しました。

北朝鮮問題に関する意見書
平成14年9月17日、小泉純一郎首相と朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)の金正日総書記による初めての首脳会談が行われ、ここで両国の新たな歴史を刻むべく日朝平壤宣言が交わされた。この宣言を契機に両国間の関係が正常化し改善されることは、戦後50年余にわたり不正常な関係にあった我が国はもとより、北東アジア地域、ひいては国際社会全体の平和と安定に寄与するものとして大きな期待が寄せられている。

しかし、その一方で、我が国にとって最大の懸案課題であった日本人拉致問題は、拉致された5名の方が帰国を果たしたものの、その家族の方々の日本への早期帰国問題や、死亡が伝えられた8名の方の事実解明などにおいて、北朝鮮の誠意ある対応が得られていない。被害者のご家族の心中を察するに痛恨の極みであり、誠に遺憾な状態が続いている。

また、北朝鮮の核問題については、核不拡散条約からの脱退宣言に続き、核施設の再稼働や建設の再開の表明など、不穏な動きが一段と高まり、国際社会における重大な関心事として国連安保理に付託されるまでに深刻化しており、我が国においても拉致問題と同様

請 願

皆さんから出された請願・陳情の審議結果などをお知らせします。

審議が終わったもの (全員賛成)

- ◆採択したもの 2件
 - 北島山六丁目100mマンション建築計画において区立西之谷保育園の環境保護を求める陳情
 - 「願意に沿うよう努力されたい」との意見を付けました。
- 上用賀4丁目墓地等建設反対に関する請願

新しく出されたもの

- ◆企画総務委員会審査するもの 1件
 - 北朝鮮による日本人拉致問題に関する請願
- ◆福祉保健委員会審査するもの 1件
 - 患者負担増の凍結・見直しに関する陳情

要 望 書

区議会は、次の要望書を関係機関あてに提出しました。

遺伝子組み換えイネに関する要望書
病原性大腸菌O157やBSE(牛海綿状脳症)問題に続き、食品の原産地や品質保持期限の虚偽表示、無認可添加物を使用した食品の大量流通など、食品の安全性に対する国民の不安が高まっています。

遺伝子組み換え食品についても、我が国では安全性未審査の遺伝子組み換え作物を含む輸入原材料を使用したスナック菓子が販売されるなどの事件が発生しています。

そうした状況の中、遺伝子組み換え技術を用いたイネの開発が進められており、その実験栽培が国内においても既に始まっています。米は大多数の日本人が食する主食であり、日本の食文化の中心の一つです。現在の状況のまま遺伝子組み換えイネの流通が開始されれば、区民の不安はさらに高まること懸念されます。

よって、世田谷区議会は、政府に対し、遺伝子組み換えイネについては、安全性を十分に確認するとともに、安全性審査に際しての情報公開を徹底するなど、慎重に取り扱われるよう要望いたします。

平成15年2月19日
内閣総理・厚生労働・農林水産大臣あて

イラク問題の平和的解決を求める要望書
イラクの大量破壊兵器などの開発・保有の疑いから国連安保理決議(国号)による国連の査察がイラクの無条件受諾により継続されている。しかし、査察への協力姿勢などを巡り、アメリカ側との対立が深刻化している。

この問題は、日本はもとより平和を願う国際社会にとって極めて重大な問題であり、平和都市宣言を行っている世田谷区の区議会としては、一刻も早くイラクの誠意ある協力のもと十分な査察が実施され、事態が平和的に解決されることを望むものである。

よって、政府は、世界の平和にとって極めて重要な局面を迎えている今、国連を中心とした平和的解決に向けて全力を尽くすよう強く要望するものであります。

本紙に掲載された質問や答弁等の内容を詳しくお知りになりたい方は、会議録(本会議の分は5月中旬、予算特別委員会の分は6月中旬発行予定)をご覧ください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所などに備えてあります。また、ホームページでもご覧いただけます。

正副委員長の互選結果の報告

平成15年2月28日
内閣総理・外務大臣 あて

○予算特別委員会
委員長 宍戸 教男(自民)
副委員長 岩本 徹昌(公明)
副委員長 山口 拓(民・無)

議員の辞職

田中美代子議員(共産)が4月14日付けで、笹尾淑議員(共産)が4月18日付けで、区議会議員を辞職しました。

☆おわびと訂正

No.188の5面、一般質問の欄に誤りがありました。

荒木議員の質問に対する答弁者が「助役 清掃・リサイクル部長」とあるのは、「在宅サービス部長ほか」の誤りでした。おわびして訂正いたします。

編集後記

○任期最後の定例会となる今定例会では、38名の議員が、福祉施策の充実や景気が低迷する中での産業振興など、区政の諸課題について質問を行いました。区議会議員選挙も終わりました。5月から新たな区議会がスタートします。これからも、区議会の活動をわかりやすくお伝えできるよう、工夫を凝らしていきます。ご意見、ご要望などをお寄せください。

○目の不自由な方のために、区議会だよりのテープ版を発行しています。お知り合いでご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡下さい。

○本紙に関するお問い合わせは、区議会事務局調査係までお寄せ下さい。

TEL (五四三三) 一一一一
TEL (五四三三) 一一一一
FAX (五四三三) 三〇三〇